

3. 視覚障害編

(4) 点 字

① 点字について

点字の紹介

点字は 1800 年ころに戦争で兵士の間で暗号として使われていたものを触読しやすいように改良したものです。1825 年、フランス人で目の不自由なルイ・ブライユによって現在の点字が考案されました。

その後世界各国に広がり、日本では東京盲啞学校（現在の筑波大学付属盲学校）の教員、石川倉次によって、日本語の 50 音に当てはめられました。

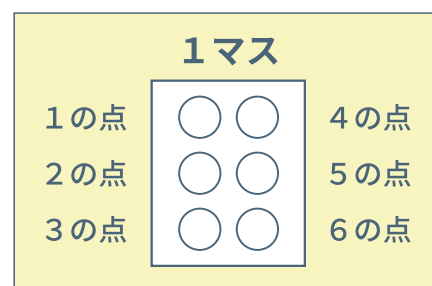
最近では、エレベーターのボタンや券売機などにも点字の表示がされるようになりました。

点字のしくみ

マス(6つの点)について

点字は全て、タテ3点・ヨコ2点の計6点で表されます。

凸面から見て、左上の点を「1の点」、左中を「2の点」、左下を「3の点」と呼び、同じように右上、右中、右下をそれぞれ「4の点」、「5の点」、「6の点」と呼びます。

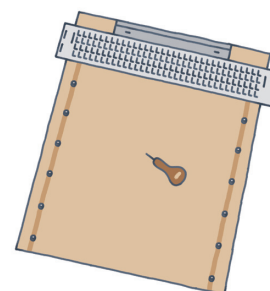


点字器と点筆

点字を「書く」場合は通常、点字器と点筆を使います。

板に点字用紙を挟んで、その用紙を定規の間に入れて、点筆で紙を押しながら裏側に凸面を作っていきます。書く場合は右から左へと書いていきます。

点字プリンターやタイプライターもあります。



コラム：点字の識字率

「平成18年身体障害児・者実態調査結果報告」によると、視覚障害の方の点字習得状況で「点字ができる」と答えた者は12.7%という調査結果が出ており、視覚障害の方が必ずしも全員点字を使えるわけではありません。

➡ 点字についてもっと知りたい場合は、群馬県立点字図書館へ
<http://www.guntento.org/index.htm>